

施策マネジメントシート

施策名	行政評価	生涯学習の推進	施策統括課	公民館	氏名	石田 進
政策名	施策体系	ひとが生きる・暮らす	施策関係課	生涯学習課、図書館		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等

・市民

意図(対象をどう変えるのか)

・生涯にわたって学習することができる  
・学習の成果を活用することができる

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%
イ 学習を通じて生きがいを得られたと答えた市民の割合	%
ウ 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	%
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
学習機会・学習情報の提供	一人ひとりのテーマに合わせた学習情報を提供します。公共施設や教育施設等を活用した学習、交流の機会を作ります。子どもから大人までの文化教養に役立つよう図書館機能を高めます。
学習成果を地域や社会に生かす場づくり	生涯学習の推進や仲間づくりの場として利用しやすい社会教育施設を目指します。学習者同士・サークル間のネットワーク化を図り、発表の場の確保や交流を促進します。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値									76,000	
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381			
		見込み値										
		実績値										
成果指標	ア %	成り行き値				62.3	62.3	62.3	62.3	62.3	62.3	
		目標値				61.5	62.2	62.9	63.6	64.3	65.0	
		実績値	63.3		61.2	66.7	65.1	64.7	67.0			
			基本計画における施策の目標設定の根拠	第2回国立市市民意識調査において、地域別で高い水準であった東や富士見台地域の割合を全体として目指すことを目標としました。								
	イ %	成り行き値				78.2	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2
		目標値				78.9	79.6	80.3	81.0	81.7	83.0	
		実績値	78.8		77.5	79.1	76.0	78.0	79.1			
			基本計画における施策の目標設定の根拠	イ、第2回国立市市民意識調査において、年代別で最も高い水準であった70歳以上の割合を全体として目指すことを目標としました。								
	ウ %	成り行き値				54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6
		目標値				54.9	55.6	56.3	57.0	57.7	60.0	
		実績値			54.6	37.6	40.0	35.0	36.3			
			基本計画における施策の目標設定の根拠	生涯学習に取り組む市民の割合を向上させ、その割合と比例した形で知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合を向上させることを目標としました。								
エ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
		基本計画における施策の目標設定の根拠										
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
		基本計画における施策の目標設定の根拠										
事務事業数		本数	29	28	27	27	27	26	25			
施策コスト	財源内訳	国庫支出金	千円			229		539				
		都道府県支出金	千円	200				147,270				
		地方債	千円									
		その他	千円					680		19,719		
	一般財源	千円	162,643	146,299	151,713	143,746	138,418	137,892	106,594			
事業費計(A)		千円	162,843	146,299	151,942	143,746	286,907	137,892	126,313	0	0	
人件費	延べ業務時間	時間	65,572	66,740	67,074	67,518	64,357	65,277	65,670			
	人件費計(B)	千円	254,600	248,513	249,888	246,743	230,461	227,367	230,452			
トータルコスト(A)+(B)		千円	417,443	394,812	401,830	390,489	517,368	365,259	356,765	0	0	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

・近年、市民の学習機会の多様化・高度化により、学習活動が活発化する一方、人間関係の希薄化など多くの課題が生まれています。そのような社会環境を改善するため、行政は生涯学習施策などを通じ、将来にわたる学習環境整備を推進・支援することが求められています。  
 ・平成23、25年度の地方分権一括法により、社会教育法及び図書館法が改正され、附属機関委員委嘱に地域の独自性が示され、各条例の改正を行った。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実が求められている。  
 財政改革審議会の最終答申では、市直営施設の管理運営のあり方検討が求められている。

5 25年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
	・生涯学習課や公民館、図書館の活動を通じて、生涯学習活動への支援に努めました。 ・図書館では、国分寺市、府中市の他、新たに立川市との相互利用を開始しました。第二次国立市子ども読書活動推進計画を策定し、読書意欲向上を図りました。また、南分室・東分室の開館時間延長を行いました。 ・公民館では、文部科学省受託事業の「自立に課題を抱える若者支援事業」を実施しました。 ・第20期社会教育委員の会では諮問「家庭教育支援の充実について」答申作成に向け討議を重ねました。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)	
成果指標ア 【 日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合 】	
<input checked="" type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
成果指標イ 【 学習を通じて生きがいを得られたと答えた市民の割合 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 ( <input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
成果指標ウ 【 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かしている市民 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 ( <input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
成果指標エ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
成果指標オ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
成果指標カ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下 )	
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)	
C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)	
B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である	
背景として考えられること ア...市民の生涯学習活動への理解が深まった。 イ...目標値は達成していないが、昨年度より微増である。公民館にて新規事業に取り組んだことが要因と思われる。 ウ...目標値は達成していないが、昨年度より微増である。図書館ボランティアの拡大等が微増の要因と思われる。 成果指標の一部は目標値を超えていないものの、昨年度より微増のため、成果維持傾向である。 多摩地域各市に比べ図書館ボランティア数や公民館事業数が多い。	

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

国立市は、市民の社会教育事業への関心の高さにより、生涯学習に取り組んでいる市民の割合や、学習を通じて生きがいを得られた市民の割合が高いと考えられる。  
 図書館では四市相互利用や、分室の開館時間延長に取り組み、利用者の利便性向上を実現した。また、第二次国立市子ども読書活動推進計画を策定し、読書意欲向上を図った。さらに3年目に入った中学・高校生によるYA実行委員会による各種取組み(YAコーナー充実、参加型講演会の企画等)が定着し、効果をあげている。  
 第20期社会教育委員の会では諮問「家庭教育支援の充実について」答申作成に向け討議を重ねた。  
 これらも一因となり、生涯学習に取り組んでいる市民の割合の目標値を上回り、学習を通じて生きがいを得られた市民の割合はさらに増加した。

6 施策の課題・今後の方向性

- ・公民館・図書館・郷土文化館など社会教育施設の連携(資料収集、活用・事業等)を進める。
- ・第二次子ども読書活動推進計画をもとにした読書活動の普及、学校図書館との連携を緊密に児童生徒への読書活動の支援を行っていく。
- ・0歳児保護者へのブックスタート事業を開始する。
- ・図書館ボランティアの拡充を図り、ボランティア自身の生涯学習の充実を図っていく。
- ・若年を含めた幅広い世代の参加を促すための周知・啓発に力を入れていく必要がある。
- ・生涯学習計画を見据えた取り組みを進める必要がある。
- ・中央図書館の耐震性向上のための補強工事を行う。